

## 新農地利用最適化推進委員紹介 (20人)

## 担当地区順



### 現況確認証明 (非農地) 申請について

近年、現況確認証明 (非農地) 申請が多くなっています。非農地判断は農業委員・農地利用最適化推進委員の現地確認により行うため、必ずしも非農地になるとは限りませんのでご注意ください。下記 (写真) も参考にしてください。



①は利用されていないが、荒廃度が低度 (トラクター等で耕起できる) の農地、②は人力・農業用機械で草刈り、耕起、整地ができる農地、③はセイタカアワダチソウが生い茂る農地で大規模な重機により利用可能な農地

①は森林・原野化していて農地に復元して利用は不可能な農地、②は異形な小さい利用不便な農地、③は長年にわたり耕作もしないで笹やつらが絡まっています利用不可能な農地

### 農地等の利用の最適化の推進に関する意見について

昨年10月25日、前吉田会長と前佐藤会長職務代理者が、市長に意見書を提出しました。

- 【主な要望内容】
- ①担い手への農地利用の集積・集約化
  - ②遊休農地の発生防止・解消
  - ③新規参入の促進
  - ④農業の担い手・後継者対策
  - ⑤有害鳥獣対策



右から前吉田会長、白石市長、前佐藤会長職務代理者

### 長い間、お疲れ様でした

農業委員、農地利用最適化推進委員としてご尽力いただきました、次の委員さんが、このたびご退任されました。改めまして、深く感謝申し上げます。(敬称略)

- |             |                  |           |                  |            |            |           |
|-------------|------------------|-----------|------------------|------------|------------|-----------|
| 農業委員        | 郡司嘉一 (1期)        | 陣野原進 (1期) | 柳沼正郎 (1期)        | 猪狩徳孝 (1期)  | 三田勝一郎 (3期) | 渡邊義輝 (1期) |
|             | 白岩幸一 (2期)        | 安藤末男 (3期) | 齋藤実 (農委1期・推委1期)  | 渡邊登喜男 (2期) | 三浦善治 (2期)  |           |
|             | 佐藤正之 (1期)        | 大和田弘 (1期) | 佐藤円治 (農委1期・推委1期) | 石井珠枝 (1期)  | 吉田修一 (4期)  |           |
| 農地利用最適化推進委員 | 佐藤政一 (農委1期・推委2期) | 先崎和幸 (1期) | 坪井清花 (1期)        | 渡辺堅一 (2期)  | 吉田伸一 (2期)  |           |
|             | 松本洋一 (農委2期・推委2期) | 渡邊隆一 (1期) | 橋本清隆 (2期)        | 石井利夫 (2期)  | 松崎典男 (1期)  |           |
|             | 渡邊利正 (1期)        |           |                  |            |            |           |



第12号  
令和6年4月  
田村市農業委員会  
☎81-1216  
FAX81-1210

### 新会長就任あいさつ



田村市農業委員会  
会長 佐藤 伸夫

日頃より本市の農業委員会の業務活動に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、農業委員の任期満了に伴い、2月19日の田村市農業委員会第1回臨時総会において委員各位のご推挙により会長に就任することとなりました。身に余る光栄でありますとともに、重責に身の引き締まる思いであります。農業委員19名、農地利用最適化推進委員20名の合計39名による新体制のもと、3年間の任期がスタートしました。

昨今、地域農業を取り巻く情勢は、人口減少に伴う担い手不足や高齢化が一段と進み、耕作放棄地が増加の上、異常気象による災害が全国各地で発生しているとともに、先の見通せない世界情勢や燃料・肥料・農業資材等の価格高騰など多くの課題を抱えております。

このような状況の中で活かすべき農地を明確化し、農地の利用調整や

担い手育成活動に大きな期待を寄せられています。

農業委員会では、昨年4月に施行された農業経営基盤強化促進法により地域の話し合いを進めながら将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」で作成される「目標地図」の素案作りを進めてまいります。これは10年後の地域内の個々の農地についての在り方を考えて進むべき農業の方向を定めることが重要となります。

また、農業委員と農地利用最適化推進委員の相互が連携し、担い手への農地等の利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など農地利用最適化を積極的に推進していく考えであります。

結びに、農家の皆さまが安心して農業を続けられるよう農業施策の一端を担うために、今後3年間農業委員・農地利用最適化推進委員一同、地域の世話役・農家の相談相手として、田村市の農業振興のため精力的に活動してまいります。

今後とも皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 新農業委員紹介 (19人)

## 議席番号順・担当地区

